

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 4113

## 【児童・生徒の教育相談】

- \* 相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00
- \* 場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
(秘密厳守)

## 【青少年の生活相談】

- \* 相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- \* 場 所  
千曲市役所（新庁舎） 4階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 4113）  
(秘密厳守)

### 今月の家庭の日 9月19日（日）

秋の交通安全週間にあたって、子どもの安全について関心を高め、通学路や地域の危険箇所等の様子を家族一緒に確かめるなどをして、子どもの安全を守りましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。  
(秘密厳守)

笑顔いっぱい

更埴地区児童センター職員

「わあー！ 大収穫！」  
私の一日は、早朝五時、家庭菜園からスタートする。我が家の家庭菜園は児童館のとなりであり、大きな木々からは小鳥のさわやかなさえずりが聞こえてきます。  
母とずっといっしょに家庭菜園をやってきたのですが、十位前に母はサポート役として畑はすべてまかせられました。  
私の「記録ノート」に、野菜について月ごと記録してありますが、あれは野沢菜の種をまいた時のことでした。畑には、私一人。野沢菜の種はまいたけれど「土は、どのくらいかければいいのだろう？」そこからスタートです。人間、困れば何とかなるものです。  
天候により、寒かったり、暑かったり、夕立でもろこしがななめになったり、いろいろなことが起こります。でも、一番大切なのは、三月頃、堆肥をまいたり、栄養たっぷりの土壌にすることです。若い頃は、「何でこんなことしなきゃいけないんだろう？」と正直思っていました。今では、家庭菜園が私の「癒し」になっています。  
勤務している児童センターには、いろいろな個性を持った児童がたくさんいます。学校でもない、家庭でもない、児童センターでしかみせない一人ひとりの姿を大切に  
して「笑顔いっぱい」になるようにしていきたい  
らと思います。



## ～育成センターの活動より～

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、なかなか補導委員会が開かれませんでした。

【令和3年度 第1回定例補導委員会】(7月9日)

### 1. 挨拶

○齋藤会長 1年補導をやっているが、なかなかみんな活動できず残念。

○島田センター長

・千葉県での交通事故は下校途中の小学生がトラックにはねられ、多数の死傷者を出しました。「地域の子どもは、地域で守る」のもと、よろしくお願ひします。

○千曲警察署生活安全課職員

・コロナで人の移動や行動が制限され、昨年は、少年の補導数が減った。

### 2. 報告事項

(1) 令和3年度千曲市少年補導委員会の書面決議の結果について

(2) 7月強調月間に係る街頭啓発について

(3) 声かけ事案認知状況

・千曲市は5月末時点で8件発生。

・ライポくんメールから：6/30 新田地籍において、帰宅途中の女子高生が不審な男から後を追いかける事案。

(4) 不審者等の情報について(千曲警察署生活安全課職員)

・1月から、つきまとい行為・声かけ事案等22件の事案があった。

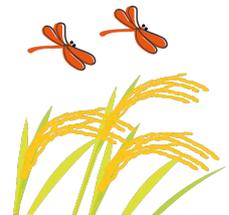
・夏休みの日中に出てくる子どもたち。不審者との遭遇が予想される。気をつけたい。

### 3. 協議事項

・補導計画について：7月「学校訪問」 8月「合同補導・定例補導」 9月「定例補導」



## 補導日誌から



☆7月は「学校訪問」、8月は各校の先生方とPTAの方と一緒に巡回する「合同補導」がありました。

【学校訪問から】

《埴生小学校訪問》

清掃時間も皆がんばっていて話をせずに行っているそうです。4年生、6年生は、ボランティアさんの指導で菊の栽培を、5年生は田植えの体験と本来の活動にもどりつつあるそうです。時代の流れで、2～6年全員にパソコンを与え、学習しているそうで、プログラミングとか先生も大変なようです。最近、車が児童に突っ込む事故があり、登下校の道路に危険がないか検討しているところだそうです。

《更級小学校訪問》

小規模校のため、上級生が下級生の面倒をよくみってくれるようです。

《戸倉上山田中学校訪問》

生徒は、元気にあいさつをかわしていました。大きな問題点はないそうです。校舎が改築されてから内部を見たことがなかったため、校長先生に校内を案内していただきました。廊下が広く、オープンスペースとして活用されており、充実した学校生活がされていると感じました。

#### 《屋代小学校訪問》

神社前の信号が以前より短くなり、登校中の児童が分断され、安全面で心配だという話がありました。もう少し長くないか？と校長先生が話されていました。千葉県で登校中の児童を巻き込んだ痛ましい事故があっただけに心配です。

#### 《屋代中学校訪問》

「タブレットが全員に貸与（最近）され、授業にも大分活用されているが、この取り扱いについて、どう指導したらよいか、注意深く見守っていくことが必要だ。」と話されていました。

#### 《東小学校訪問》

下校時に気をつけて頂きたいことをお話しました。内容は、『以前、河川・堤防工事の時にトラックの助手席よりタバコの吸殻、ペットボトルの液体を走行中の窓から捨てる行為があった』ことです。今回は、違う箇所ですが、児童が安全に下校できるようにお願いしました。

#### 《八幡小学校訪問》

学校から補導委員とはどういう肩書きなのか質問があったので、名前は補導委員になっているが、少年を補導するのでなく、『何か異常はないか、危険な場所はないか、不審者はいないか』等、見回っていると説明しました。

#### 【合同補導から】

#### 《埴生中学校》

通学路の安全確認をしながら正面前や自動車学校の周辺を回りました。まっすぐな歩道つき道路に比べ、自動車学校東の曲がりくねった歩道なし道路は車も通りやすく気をつける箇所ようです。

#### 《五加小学校》

五加小集合、セブンイレブン交差点、綿半を通り、内川公園へ行きました。コロナがなければ、青パトで各公園、公共施設を回るけど、現在は各自で一か所の公園に集合して公園と近所を徒歩で回っている現状を説明しました。公園では、中学生が二人キャッチボールを汗をかきながらやっていて、先生や私たちに挨拶してくれました。小学3年の女の子二人が後から自転車で来ました。カゴの中に水筒持参で水分補給の準備万端でした。内川公園では中学生男子生徒2名がキャッチボール等運動をしていました。暑い中であつたが、水筒を持参し、水分補給も心がけていた様子でした。

#### 《東小学校》

暑い日が続く中、熱中症に注意を払い、東小学校の先生とPTA保護者の方と合同補導を実施しました。東小学校からいただいた交通安全懇談会の資料を参考に巡回しましたが、それぞれの場所で、東小学校側から説明を受け懇談内容を確認しました。特にカーブ、坂道、障害物などで見通しが悪い交差点や道路を確認することができました。思いやりをもって、安全運転を心がけましょう！！

#### 《治田小学校》

更埴西中学校から出発して桑原方面に向かいました。治田公園トイレはきれいでした。桑原体育館で高校生3名運動していました。桑原体育館前のトイレが汚れていたため、きれいにしました。1時間歩いて回りましたが、子ども達には一人も会いませんでした。

#### 《上山田小学校》

初めて上山田児童館を訪問したところ、20名位の子供達がおおり、小学生から中学生まで、ドッチボール、工作をして遊んでいました。久々に子供の声を聞いて、私も若返った気がしました。短冊にきれいな字が書かれていたので感心しました。その書いた女の子がいて、字のきれいなことを褒めてやりました。子ども達に良い事は大いに褒めてやりたいと思います。今日は、子ども達の元気な声にふれて、私も元気をもらいました。ありがとう！！

## ～わたしのゆめ～

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「書店員になってやりたいこと」 屋代小学校 島田 禅

ぼくの将来の夢は、書店員です。理由は、本のすばらしさをみんなに知ってもらいたいからです。

本はおもしろいです。本は書いた人の世界観があって、その世界観のおもしろさをみんなに知ってもらいたいのです。また、本を読むと、いろいろなことを知ることができます。今、6年生は歴史の勉強をしています。ぼくは、歴史上の有名な人の伝記を読んでいるので、授業で習ったことは知っていました。このように、本の情報はいずれ役立つと思うのです。ぼくはこれからも、いろいろな分野の本を読んでいきたいです。そして、この作文を読んだ人が、もっと本を読んでくれるとうれしいです。

「僕の夢」 治田小学校 中山 雄陽

僕の将来の夢は、英語の通訳になることです。きっかけは、英語が大好きな事と英語の先生がペラペラに英語を話していてすごいなと思ったからです。英語の通訳を目指した1番の理由は、人の役に立ちたいからです。通訳のおかげで、話をしていた人が、会話が成立したことをとても喜んでいました。通訳になるためには英語の勉強が大切だと思います。また、通訳は人に伝える仕事なのでコミュニケーションも大切です。そのために、僕は英単語を覚えたり、文章もどういう順番なのか、どうなったらかわるのか注意して勉強したり、人と人との会話を1回1回大切にしたりしていきたいです。人と人をつなげられる英語の通訳になれるように頑張っていきたいと思います。

「医師になるために」 戸倉小学校 児玉 悠真

僕の将来の夢は、医師になることです。医師になりたいと思ったきっかけは、通院している耳鼻咽喉科の先生です。僕は鼻が悪いので通院をしているのですが、毎回僕のことをきちんと診て何が原因なのかを詳しく調べてくれます。

医師は、人の命を預かる重要な仕事を任されているので、冷静な判断力や行動力、忍耐力が必要だと思います。また、医学は日々進歩しているから、新しい知識を吸収しようと努力や勉強をあきらめないことが大切だと思います。

医師になるのはそう簡単なことではないと思いますが、中学、高校、大学へと進んで努力を続け、人の役に立てる医師になりたいです。

「オレンジ色に憧れて」 更埴西中学校 塚田 響

多くの人を救える消防士になりたい。これが僕の夢である。

まだ小さいとき腕に火傷をして救急車で運ばれた。その時、必死に治療をしてくれた救急隊員がかっこよかった。また、家の近くで火事が起きた時、その火を消化する隊員の姿がかっこよかった。そのような姿から、自分も人の命を救いたいと思うようになった。僕もあのオレンジ色の制服を着たい。

消防士になるのは大変だけど、この夢を実現したい。